

単元	指導内容	評価規準
住まいのはたらきとこ ちよさ 1 住まいのはたらき 2 住まいの空間 3 安全な住まいで安心 な暮らし 4 持続可能な住生活	・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・住まいの役割を話し合い発表 ・家族の生活と住み方とのかかわりを考える。 ・世界の暮らし方をまとめ発表 ・健康で心地よく住むための室内環境の条件を知り、改善の方法を考える。 ・条件を話し合い発表 ・家庭内の事故とその原因について知り、安全に住むために改善の方法を考える。 ・想定されるトラブルの対応を発表 ・家族が心地よく住むためにできることを考える。 ・住まいの設計 ・バリアフリーやユニバーサルデザインの例を探し、障害に応じた住まいの工夫について考え、発表する。 ・完成までの手順を確認し、小物を製作する。	・住まいに関心を持ち、住生活をより良くしようとしている。（主体的に取り組む態度） ・生活行為と住空間の関係を理解し、自分の生活にあった住空間の工夫ができる。（思考・判断・表現） ・健康で心地よく住むための室内環境の整備に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。（知識・技能） ・安全で快適な室内環境の整え方と住み方について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。（思考・判断・表現） ・家族が心地よく住むための条件が理解できる。（知識・技能） ・住居の基本的な機能を理解し作品の制作をする。（知識・技能） ・障がいに応じた住まいの工夫を考え、発表することができる。（思考・判断・表現・主体的に取り組む態度） ・小物づくりの手順を理解し、小物を製作することができる。（知識・技能・思考・判断・表現）
家庭生活と消費 1 消費生活のしくみ 2. 購入・支払いと生活 情報 3. 消費者被害と消費 者の自立	・自分の生活を振り返り、商品を物資とサービスに分ける。 ・消費生活のしくみを知り、循環型社会であることを理解する。 ・いろいろな購入方法と支払方法があることを知り、それぞれの長所・短所を考える。 ・いろいろな悪質商法の手口があることを知り、被害にあわない方法を考える。 ・消費者を支える法律について知る。	・物資とサービスを理解し、毎日の生活で購入する商品を物資とサービスに分けることができる。（思考・判断・表現） ・消費生活の仕組みを理解することができる。（思考・判断・表現） ・いろいろな購入方法と支払方法、それぞれの長所・短所を理解することができる。（知識・技能） ・悪質商法の手口を理解し、府顔の合わない方法を理解している。（知識・技能） ・消費者を支える法律を理解することができる。（知識・技能）